



刊行物

主教

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D.

諸国民への主教、使徒的委任のもとに



また言ひ給ふ「この故に、天國のことを教へられたる凡ての學者は、新しき物と舊き物とをその倉より出す家主のごとし」

マタイ伝福音書13:52（文語訳）

目次

[天国の学者](#) [著作の番号の付け方](#) [読み方](#) [RSSによる購読](#) [シリーズ、主題、巻](#) [著作](#)



天国の学者

主教 Garland F. Byers, Jr. は、教会の主教である。主教としての彼の召命は、会衆を牧することでも群れを養うことでもなく、また聖職者の通常の務めを果たすことでもない。それは、主がこの御言葉において語られた召命、すなわち天国の学者として仕えることである。

イエスの時代にも、またそれよりはるか以前にも、神の民の中には学者がいた。その務めは、神の言葉を文書として保存し、それを教えて、民が理解できるようにすることであった。エズラは「モーセの律法に精しき學士」であって（エズラ書7:6）、「心をこめてエホバの律法を求め之を行ひてイスラエルの中に法度と例規とを教へたりき」（エズラ書7:10）と記されている人物である。律法が民の前で読まれたときには、「彼等その書に就て神の律法を朗かに誦み且その意を解あかしてその誦ところを之に了らしむ」（ネヘミヤ記8:8）。主ご自身

も、このような人々を遣わすと約束された。「この故に視よ、我なんぢらに預言者・智者・學者らを遣さん」(マタイ伝福音書23:34)。

天国のことを教えられた学者は、神の言葉という倉から新しいものと古いものを取り出す。彼は信仰の古い真理を再び思い起こさせ、神の民の益のために新しいものを示す。彼は自らの力によってではなく聖霊によって書くのであり、この聖霊について主はこう言われた。「汝らに萬の事ををしへ、又すべて我が汝らに言ひしことを思ひ出さしむべし」(ヨハネ伝福音書14:26)。

ここに集められた著作は、その召命の実である。バイヤーズ主教は導かれるままに、時代と信徒が必要とするあらゆる事柄について書く。それは教えの一つの要点であることもあれば、苦難の時ににおける一言であることも、また多くの部に分けて続けられる長大な研究であることもある。



著作の番号の付け方

各著作には、刊行の順に番号が付される。第1号、第2号、第3号というように続く。番号は年をまたいで途切れることなく続き、振り直されることも再使用されることもない。各著作にはまた、その刊行日も記される。

番号はその著作の恒久的な参照記号である。それはどの言語でも、どの形態でも変わらないため、著作は常にその番号だけで引用することができる。著作が後に訂正された場合も、その番号はそのまま保たれ、元の日付の下に改訂日が示される。



読み方

すべての著作は、このウェブサイト上で読むことができ、PDFとしてダウンロードすることもできる。翻訳が完成するにつれて、各著作はこのサイトの他の言語でも、同じ番号のもとで読めるようになる。



RSSによる購読

新しい刊行物はRSSで購読することができる。RSSとは、自分で選んだフィードリーダーのアプリを通じて、新しい著作が出るたびに通知を受け取ることができる、無料で簡単な方法である。登録は不要であり、氏名、電子メールアドレス、その他の個人情報を求められることもない。この働きは、誰が購読しているかの記録を一切残さず、あなたが誰であるかを知る手段も持たない。

フィードは、新しい刊行物それぞれの題名と短い要約を、このウェブサイトで全文を読むためのリンクとともに提供する。このサイトのすべてのページと同様に、閲覧は匿名の合計としてのみ数えられる。たとえば、あるページが何回読まれたか、どの国から読まれたか、といったものである。クッキーは使用されておらず、読者を特定しうる情報は何も記録されない。

これは意図的なものである。場所によっては、キリスト教の著作を読むことがその人を危険にさらすことがある。RSSを用いれば、誰であれ、自分の氏名や住所を誰にも残すことなく、これらの刊行物を購読することができる。

日本語の刊行物のRSSフィード



シリーズ、主題、巻

単独で完結している著作もある。また、より長い研究に属し、信徒が全体の完成を待たずに読めるよう、各部が完成するごとに分けて刊行されるものもある。著作の数が増えるにつれて、それらはシリーズ別、主題別にもまとめられ、やがては巻として集成される。



著作

著作は刊行され次第、新しいものから順にここに掲載される。



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：[ウィキソース](#)。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「.....」で示しています。